

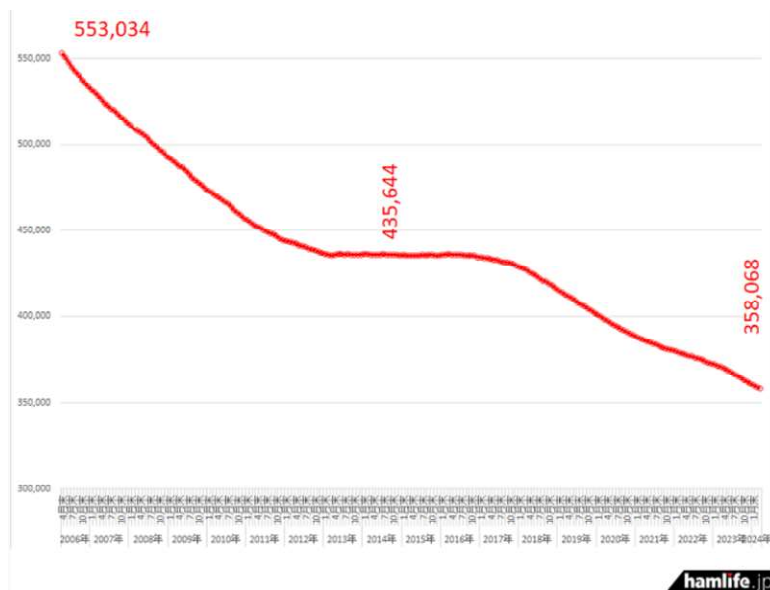
2024 年 月 日

「アマチュア無線の魅力向上アイデア」提案書

1. 提案者
 - ・氏名（グループの場合は代表者）：佐藤 弥騎
 - ・年齢：
 - ・コールサイン（局免許保有者の場合）：JK1JDE
 - ・連絡先 住 所：
 - メール：
2. 提案カテゴリー（AまたはBを選択）

A 既に開局している若者や初心者にとっての魅力を一層高めるアイデア
3. アイディア名：若年層ハムユーザーを生み出すために
4. アイディアの概要（200 字以内）：
 - ・無線設備の入手性・表記のわかりにくさ
 - ・周りにいないからやらない？できない？
 - ・そもそもどこに「魅力」を感じる？
5. 詳細説明（図表を含めて4 頁以内）：

総務省の公開しているデータを見てみると、アマチュア無線技士の資格取得者数は、全体的に上昇傾向にある。しかし、アマチュア無線局数は減る一方であり、決して有資格者が減っているわけではないと推測される。



年度		H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
資格	アマチュア無線										
	第一級アマチュア無線技士	30,041	30,837	31,544	32,327	32,852	33,495	34,005	34,293	34,698	35,146
	第二級アマチュア無線技士	77,536	77,973	78,818	79,927	80,830	81,698	82,544	83,475	84,650	85,869
	第三級アマチュア無線技士	220,624	226,666	232,686	238,765	244,468	249,893	255,283	260,075	265,911	272,163
	第四級アマチュア無線技士	3,054,147	3,067,592	3,081,923	3,094,964	3,108,105	3,120,290	3,131,941	3,140,695	3,151,932	3,165,127

ならば何が原因なのだろうか？

私は、おそらく『無線機器の値段』『手に入れにくさ』『色々書いてあるけどよく分からない』『開局手順などが分かりにくい』というのが一つの原因だと思う。

実際、2年前 高校在学中に開局した身として、開局済の先生の助けがなければ開局は難しかっただろう。

書き方が遠回しな上に、フォーマットが統一されていない上に、正直に言ってどこに何を入力するべきかがわからない。

また、保証認定なんてもっての外、理解するだけでも苦しむくらいの分かりにくさで、結局何度もメールをやりとりしながら保証認定を取得した。

無線機器の値段に関しては、人によってはそもそも自分の資格の範囲内でどこまで扱えばいいのかも分かりにくい。

しかも、値段は高い。安くても3万円（メーカー小売希望価格・税込）はするのに、安いものはほとんどの場合交信範囲は狭い。

だが、初心者がアンテナを選ぶ、となると、想像以上に難しいものであり、1人で判断するのは余計難しいものであるし、粗悪品をつかまされる事も少なくない。

だからこそ、周りに有識者がいることはとても重要であり、その人が相談相手になってくれることは安心して交信することにもつながると思う。

加えて、高校コンテストなどの各賞の内容。

無線局が減り続ける中で、あまりお金をかけられないのは承知の上ではあるが、正直に言ってしまうと、（高校生なんて特にそうだが）賞状だけではあまり魅力はない。

それこそ、引退してしまった先輩HAMユーザーのリグを再整備して賞品にしたり、お金は掛かるが、ハンディ機を1台、賞品にするなどもいいと思う。

リグが高いなら、伝手があれば一番手っ取り早い話であると思うので、有志を募って行うのも またアリなのかもしれない。

6. 参考情報（任意）

- ・ 参考資料：資料名 （PDF ファイルを添付）
- ・ Web 情報：

- ① <減少数の高止まり傾向が続く>総務省が2024年3月末のアマチュア局数を公表、前月より837局少ない35万8,068局 - hamlife.jp

<https://www.hamlife.jp/2024/05/02/soumusyo-toukei-202403/#>

- ② 総務省・資格別無線従事者免許取得者数の推移（H25～R4年度）

<https://view.officeapps.live.com/op/view.aspx?src=https%3A%2F%2Fwww.soumu.go.jp%2Fjohotsusintoeki%2Ffield%2Fdata%2Fgt020404.xls&wdOrigin=BROWSELINK>